第 19 回
日本仏教綜合研究学会学術大会

開催日　2020 年 12 月 13 日（日）

会場　Zoom を利用したオンライン方式での実施

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、今年度学術大会につきましてはオンライン方式での開催にて実施することとなりました。会員・非会員を問わず、申し込みフォームより参加登録いただきますようお願い申し上げます（登録締切日：12 月 8 日）。参加方法の詳細等につきましては、当会ホームページ（https://bussou.jp）をご覧ください。

学　術　大　会

会長挨拶　原田　正俊（関西大学）　10:30-10:40

研究報告（報告 30 分・質疑 10 分）

① 空海伝の成立年代と特質に関する一考察―弟子堅慧の記述を鍵にして―　10:40-11:20
井上　友莉子（名古屋市立大学博士後期課程）

② 安楽寿院不動堂の再解釈―覚鑁における不動明王伝承をめぐって―　11:20-12:00
郭　佳寧（名古屋大学博士研究員）

（昼食休憩）

③ 「三尊合行法」の展開を通じてみる弘法大師信仰とその図像学　13:00-13:40
ラポー・ガエタン（京都大学白眉センター）

シンポジウム「作られた近世仏教イメージを見直す」

趣旨説明　曽根原　理（東北大学）・朴澤　直秀（東洋大学）　13:40-13:50

シンポジウム報告（報告 30 分）

① 黄檗開宗が日本仏教へ与えたインパクト：高泉を中心として　13:50-14:20
野川　博之（元　台湾法鼓文理学院兼任助理教授）

② 近世における高野山史の成立について　14:20-14:50
村上　弘子（駒澤大学仏教経済研究所研究員）

（休憩）

③ 近世大名家における菩提寺の形成と展開―鳥取藩を事例として　15:00-15:30
岸本　覚（鳥取大学）

総合討論　15:30-16:00

（休憩）

総会　16:10-16:50

懇　親　会

※今年度の懇親会は中止とさせていただきます。何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。